

[農業・林業系]

耐力壁パネル

■企業プロフィール

〒791-1202
愛媛県上浮穴郡久万高原町入野
1829-1
TEL/0892-21-1302
FAX/0892-21-1302
設立/平成25年12月
資本金/350万円
事業内容/久万高原ラティスパ
ネル生産/久万高原の家シリーズ
建築
http://morinotakumi.jp/(工事中)
http://www.kinikodawari.net/
(協議会)
mado@morinotakumi.jp

■社長プロフィール

白岡 靖弘
16歳で松山市の工務店に修行に入り、
21歳で久万高原町に帰り町内工務店に勤務、
35歳で独立して白岡住建を立ち上げ親子で工務店を営む。

白岡

靖弘

代表取締役
Yasuhiro Shiraoka

良質の久万材を全国へ。低利用材を活用した耐力壁パネルを開発



スローガン

- 久万材を扱う大工の伝統的な技術の伝承
- 会社を軌道に乗せ、若手の後継者育成に力を注ぐ

オリジナル製品・サービス

- 久万杉の耐力壁パネル「久万高原ラティスパネル」
- 木のまちがつくったモデルハウス「久万高原の家」

久万高原町を盛りたてる
エキスパート集団

平成21年9月、愛媛県や久万高原町の後押しを受け、厳しい気候が育てた良材で知られる久万材の販路拡大を目的に、町内の林業、製材、大工が一体となり「久万材の家づくり推進協議会」を設立。久万杉のなかでも利用価値の低かったラティスパネルを使用した耐力壁パネルを、四国職業能力開発大学校などの協力を得て商品化し、国土交通大臣が認定する壁倍率を取得。さらなる販路拡大のために、協議会の一部のメンバーで株式会社森の匠を設立した。その耐力壁パネルは、町内に建つ「久万高原の家」のモデルハウスに使用。構造フレームと構造用面材に久万材100%を実現した、木の温もりを体感できる、地元久万高原町を愛する住まいとなっている。

強い粘りが、強い家をつくる

地域材利用で地域の林業を応援

愛媛県産材久万杉でつくった木造軸組耐力壁パネル「久万高原ラティスパネル」は、柱材を製材した残りの背板からとれるラティスパネルを有効利用して製作されるもの。通常の構造用合板とは見た目も構造も違うもので、規定の幅でつくられた木材を網目状に組み上げ、完成したパネルを構造躯体として外壁と内

壁の間に設置。設置の際は、ビスや釘で留められるので、接着剤を使用せず、揮発性有機化合物の発生がないのが利点の一つ。さらに網目構造で壁の通気も確保することができ。地震などの際に、筋交いや合板のように一度で致命的な損傷を受けず、各部材が負荷を分担することで、強い粘りが生まれる特性が最大のメリットだ。洋風の住まいに用いられる大壁タイプと、和風の住まいや伝統工法で建てられる住まいに用いる真壁タイプがあり、真壁タイプは全国的にも数が少ない稀少品だ。

全国展開可能な商品の開発
若手職人の育成に注力

県内の設計事務所や工務店で実際に採用されるなか、認定品の基本モジュールが950ミリの四国間となっているため、県外での利用が難しいというデメリットがある。今後は全国展開が可能な910ミリの関東間の認定を目指し、改良を重ねる。また慢性的な人手不足である建築業界に新たな雇用を創造できるよう、より多くの久万材を利用した建物全般に関わる商品の開発を目指す。



株式会社森の匠

県産材・久万杉のエキスパート

木の家づくりを守り伝える